

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2497 URL https://united.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）早川 与規
 問合せ先責任者（役職名）取締役 経営管理本部長（氏名）山下 優司（TEL）03(6821)0000
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,326	△31.0	2,572	△52.1	2,520	△53.1	1,628	△47.1
2024年3月期中間期	9,170	38.2	5,368	71.2	5,379	71.0	3,080	29.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △657百万円（—%） 2024年3月期中間期 △856百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	41.51	41.48
2024年3月期中間期	78.77	78.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	24,793	22,395	88.9
2024年3月期	26,745	23,540	87.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 22,052百万円 2024年3月期 23,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	24.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	24.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400～ 10,300	△25.2～ △18.1	2,000～ 2,500	△58.8～ △48.6	2,000～ 2,500	△58.6～ △48.2	1,150～ 1,500	△51.4～ △36.6	29.00～ 38.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	40,412,690株	2024年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,126,623株	2024年3月期	1,204,628株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	39,239,104株	2024年3月期中間期	39,112,568株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

2024年11月13日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	11
(企業結合等関係)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善される中で、インバウンド需要の増大もあり緩やかに回復している一方、物価の上昇が続いていることや、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の先行きに懸念があること、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、教育事業、人材マッチング事業及び投資事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいります。

当中間連結会計期間の経営成績は、通期計画に基づき、投資事業で有価証券の売却量を前年同期比で減少させた影響により、売上高は6,326,019千円(前年同期比31.0%減)となり、営業利益は2,572,426千円(前年同期比52.1%減)、経常利益は2,520,518千円(前年同期比53.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,628,629千円(前年同期比47.1%減)となりました。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当中間連結会計期間は、投資先株式の売却量を前年同期比で減少させた影響により、売上高は3,387,592千円(前年同期比45.8%減)、セグメント利益は3,162,743千円(前年同期比47.4%減)となりました。

② 教育事業

教育事業は、オンライン教育事業を運営するキラメックス㈱により構成されております。

当中間連結会計期間は、オンラインプログラミングスクール「テックアカデミー」の受講者数が減少した影響により、売上高は454,906千円(前年同期比30.8%減)、セグメント損失は131,466千円(前年同期はセグメント損失52,341千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、人材紹介事業・採用支援事業等を運営するユナイテッド・リクルートメント㈱(2024年7月1日付でイノーブ㈱から商号変更)、副業・転職マッチング事業を運営するカソーク㈱、人事特化型マッチング事業を運営するONX㈱及びデザイナー特化型マッチング事業を運営する㈱リベイスにより構成されております。

当中間連結会計期間は、ONX㈱及び㈱リベイスの成長並びに前期に実施したのれんの減損処理によりのれん償却費が減少した影響等により、売上高は330,977千円(前年同期比36.5%増)、セグメント損失は90,855千円(前年同期はセグメント損失273,347千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ㈱、フォッグ㈱、㈱インターナショナルスポーツマーケティング及び㈱ブリュアスにより構成されております。

当中間連結会計期間は、フォッグ㈱の主力事業であるオンラインくじの成長により、売上高は2,154,659千円(前年同期比6.0%増)となりましたが、コンテンツ事業の原価増及びアドテクノロジー事業における取扱高の減少等の影響により、セグメント利益は92,632千円(前年同期比49.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,951,673千円減少し、24,793,406千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、投資先株式の売却等により、前連結会計年度末に比べ743,223千円増加しております。
- ・営業投資有価証券は、投資先株式の売却及び時価評価により、前連結会計年度末に比べ183,648千円減少しております。
- ・デリバティブ債権は、期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ2,263,379千円減少しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ807,052千円減少し、2,397,522千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・繰延税金負債は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ984,941千円減少しております。
- ・未払法人税等は、投資先株式の売却等による課税所得の発生により、前連結会計年度末に比べ282,553千円増加しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,144,621千円減少し、22,395,883千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・資本剰余金は、連結子会社の増資による持分の増減及び連結子会社株式の一部売却による持分の増減等により、前連結会計年度末に比べ274,748千円増加しております。
- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ687,635千円増加しております。
 - ・親会社株主に帰属する中間純利益1,628,629千円の計上
 - ・剰余金の配当による940,993千円減少
- ・その他有価証券評価差額金は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ715,128千円減少しております。
- ・繰延ヘッジ損益は、期間満了によるデリバティブ契約の終了により、前連結会計年度末に比べ1,570,333千円減少しております。
- ・非支配株主持分は、連結子会社の増資による持分の増減等により、前連結会計年度末に比べ113,449千円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想は、2024年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2024年5月9日に発表しました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2025年3月期通期連結業績予想(2024年4月～2025年3月)

売上高	9,400百万円～10,300百万円	(前連結会計年度比 25.2%～18.1%減)
営業利益	2,000百万円～ 2,500百万円	(前連結会計年度比 58.8%～48.6%減)
経常利益	2,000百万円～ 2,500百万円	(前連結会計年度比 58.6%～48.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,150百万円～ 1,500百万円	(前連結会計年度比 51.4%～36.6%減)

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,985,094	13,728,318
売掛金	967,929	871,263
営業投資有価証券	7,836,613	7,652,965
棚卸資産	33,440	37,870
デリバティブ債権	2,263,379	-
その他	308,220	322,425
貸倒引当金	△15,324	△15,209
流動資産合計	24,379,354	22,597,633
固定資産		
有形固定資産	277,181	258,580
無形固定資産		
のれん	76,907	64,692
その他	299,908	332,527
無形固定資産合計	376,815	397,220
投資その他の資産	1,711,728	1,539,972
固定資産合計	2,365,725	2,195,773
資産合計	26,745,079	24,793,406
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,498	761,607
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,370	5,880
未払法人税等	650,519	933,072
その他	594,075	443,731
流動負債合計	2,063,463	2,244,292
固定負債		
長期借入金	51,430	48,490
繰延税金負債	1,089,681	104,740
固定負債合計	1,141,111	153,230
負債合計	3,204,575	2,397,522

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	452,447	727,196
利益剰余金	18,413,837	19,101,472
自己株式	△963,119	△898,112
株主資本合計	20,826,184	21,853,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	914,162	199,034
繰延ヘッジ損益	1,570,333	-
その他の包括利益累計額合計	2,484,495	199,034
新株予約権	210,665	210,665
非支配株主持分	19,158	132,607
純資産合計	23,540,504	22,395,883
負債純資産合計	26,745,079	24,793,406

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,170,910	6,326,019
売上原価	2,108,032	2,188,401
売上総利益	7,062,878	4,137,617
販売費及び一般管理費	1,694,400	1,565,190
営業利益	5,368,477	2,572,426
営業外収益		
受取利息	74	9,342
受取配当金	3	3
為替差益	4,153	-
未払配当金除斥益	210	848
暗号資産評価益	613	-
事務所移転費用戻入益	6,279	-
受取解決金	1,862	-
その他	4,106	4,639
営業外収益合計	17,303	14,833
営業外費用		
支払利息	924	1,078
持分法による投資損失	3,765	5,141
為替差損	-	1,731
控除対象外消費税等	-	5,714
支払奨励金	-	47,474
暗号資産評価損	-	3,057
その他	1,369	2,545
営業外費用合計	6,059	66,741
経常利益	5,379,721	2,520,518
特別利益		
投資有価証券売却益	-	22,013
段階取得に係る差益	-	492
特別利益合計	-	22,506
特別損失		
減損損失	570,313	-
投資有価証券評価損	-	50,768
段階取得に係る差損	580	-
特別損失合計	570,894	50,768
税金等調整前中間純利益	4,808,827	2,492,256
法人税、住民税及び事業税	1,760,162	865,343
法人税等調整額	△28,104	△865
法人税等合計	1,732,058	864,477
中間純利益	3,076,768	1,627,778
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△3,941	△850
親会社株主に帰属する中間純利益	3,080,710	1,628,629

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,076,768	1,627,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,260,706	△715,128
繰延ヘッジ損益	△1,672,470	△1,570,333
その他の包括利益合計	△3,933,176	△2,285,461
中間包括利益	△856,407	△657,682
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△860,349	△658,532
非支配株主に係る中間包括利益	3,941	850

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,808,827	2,492,256
減価償却費	75,561	74,435
減損損失	570,313	-
のれん償却額	117,327	14,183
株式報酬費用	33,216	27,968
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,785	△115
受取利息及び受取配当金	△78	△9,345
支払利息	924	1,078
持分法による投資損益(△は益)	3,765	5,141
投資有価証券評価損	-	50,768
売上債権の増減額(△は増加)	124,663	97,998
仕入債務の増減額(△は減少)	94,310	49,109
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△137,128	△830,104
その他	△149,852	△194,657
小計	5,540,065	1,778,717
利息及び配当金の受取額	78	9,345
利息の支払額	△799	△1,216
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,251,185	△585,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,288,159	1,200,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,660	△255
無形固定資産の取得による支出	△70,178	△88,181
投資有価証券の取得による支出	△1,000,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	142,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△34,657	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	22,993
その他	△1,940	△1,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,114,435	75,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△23,300	△3,430
配当金の支払額	△448,359	△939,073
ストック・オプションの行使による収入	11,944	-
非支配株主からの払込みによる収入	57,696	349,411
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	59,949
その他	-	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,018	△533,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,771,705	743,223
現金及び現金同等物の期首残高	13,370,743	12,985,094
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,142,448	13,728,318

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 連結子会社間の吸収合併

当社は、2024年9月30日開催の取締役会において、当社の連結子会社である㈱ブリューアスを吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であるキラメックス㈱を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することについて決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業(存続会社)

名称： ㈱ブリューアス
事業内容： スマートフォン向けアプリの開発等

被結合企業(消滅会社)

名称： キラメックス㈱
事業内容： オンラインプログラミング教育事業

② 企業結合日

2025年4月1日

③ 企業結合の法的形式

㈱ブリューアスを存続会社、キラメックス㈱を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

㈱ブリューアス

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である教育事業における既存のプログラミング領域の強化を目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。

2. 連結子会社間の吸収合併

当社は、2024年9月30日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるユナイテッド・リクルートメント(株)を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であるONX(株)を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することについて決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業(存続会社)

名称： ユナイテッド・リクルートメント(株)
事業内容： 人材マッチング事業

被結合企業(消滅会社)

名称： ONX(株)
事業内容： 人材マッチング事業

② 企業結合日

2024年12月1日

③ 企業結合の法的形式

ユナイテッド・リクルートメント(株)を存続会社、ONX(株)を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

ユナイテッド・リクルートメント(株)

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である人材マッチング事業の中期的な成長を実現することを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	647,215	242,156	2,031,995	2,921,367	—	2,921,367
その他の収益	6,249,543	—	—	—	6,249,543	—	6,249,543
外部顧客への 売上高	6,249,543	647,215	242,156	2,031,995	9,170,910	—	9,170,910
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	10,439	349	—	10,788	△10,788	—
計	6,249,543	657,654	242,506	2,031,995	9,181,699	△10,788	9,170,910
セグメント利益又は 損失(△)	6,008,548	△52,341	△273,347	181,650	5,864,509	△496,032	5,368,477

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△496,032千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前中間連結会計期間において、「人材マッチング事業」におけるのれんの一部を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前中間連結会計期間において570,313千円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	453,790	329,976	2,154,659	2,938,426	—	2,938,426
その他の収益	3,387,592	—	—	—	3,387,592	—	3,387,592
外部顧客への 売上高	3,387,592	453,790	329,976	2,154,659	6,326,019	—	6,326,019
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	1,115	1,001	—	2,116	△2,116	—
計	3,387,592	454,906	330,977	2,154,659	6,328,136	△2,116	6,326,019
セグメント利益又は 損失(△)	3,162,743	△131,466	△90,855	92,632	3,033,054	△460,627	2,572,426

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△460,627千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引

連結子会社の吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業(存続会社)

名称: イノープ㈱

事業内容: ダイレクトリクルーティング媒体のスカウト代行サービス『offerBrain』の運営

被結合企業(消滅会社)

名称: ブッシン㈱

事業内容: 人材紹介事業

(2) 企業結合日

2024年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

イノープ㈱を存続会社、ブッシン㈱を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

ユナイテッド・リクルートメント㈱

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である人材マッチング事業の中期的な成長を実現することを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

1. 連結子会社間の吸収合併

当社は、2024年10月29日開催の常勤取締役会において、当社の連結子会社であるユナイテッド・リクルートメント㈱を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社であるカゾーク㈱を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することについて決議いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業(存続会社)

名称： ユナイテッド・リクルートメント㈱
事業内容： 人材マッチング事業

被結合企業(消滅会社)

名称： カゾーク㈱
事業内容： 人材マッチング事業

② 企業結合日

2024年12月1日

③ 企業結合の法的形式

ユナイテッド・リクルートメント㈱を存続会社、カゾーク㈱を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

ユナイテッド・リクルートメント㈱

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である人材マッチング事業の中期的な成長を実現することを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。

2. 取得による企業結合

当社は、2024年11月13日付の取締役会において、(株)グローバルアシストホールディングスの株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 (株)グローバルアシストホールディングス
事業の内容 個別指導塾の運営を行う(株)ベストコの持株会社

② 企業結合を行った主な理由

当社グループのコア事業である教育事業において、既存のプログラミング領域以外にも領域拡大を図るため、個別指導塾領域に新規参入することを目的としております。

③ 企業結合日

2024年12月31日(予定)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 取得した議決権比率

51.0%

⑥ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内容

取得の対価	現金	976,674千円
取得原価		976,674千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

デュー・デリジェンス費用等(概算額) 16,883千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。